表1 ニホンジカ保護管理に係る調査項目および調査実施年度

1. ニホンジカ保護管理計画に基づく調査地点																
			H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25				
自然再生推進計画	調査地点数		1期計画					2期計画					調査範囲	調査内容	調査時期	目的
ニホンジカ保護管理計画	柵内	柵外	1期計画				2期計画				3期計画					
①緊急対策地区																
1-1 植生調査		5	○					○			○		30m×30m	種別被度・群度 (No.1～3、5、6のみ※シカの影響を受けにくいNo.4、7は外す)	秋季	階層構造と構成種の変化から、被害状況を把握する。
1-2 毎木調査(剥皮)		3	○				○			△		－	30m×30m	剥皮度(5段階)、枯死状況 (▲はⅤ、Ⅵ、Ⅶ柵外のみ)	9～10月	ニホンジカの剥皮による被害状況を把握する。また、過去の剥皮度の上昇率等と比較することで、ニホンジカ個体数調整の効果を検証する。
1-3 下層植生調査		5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	2m×2m×5	種別植被率(%)、最大高 (▲は全体の植被率、最大高、優占種、ササの稈高) (No.1～3、5、6のみ※シカの影響を受けにくいNo.4、7は外す)	秋季(詳細調査は落葉前)	稚樹を含む低木層及び草本層に対するニホンジカ個体数調整の効果を検証するとともに、被害状況を把握する。
1-4 ササ稈高調査		6						○	○	○	○	●		柵外のササの稈高		ニホンジカ個体数調整の効果を検証する。
1-5 糞粒調査		14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	110コドラート	コドラート内の糞粒数	秋季	ニホンジカの生息数を推定し、ニホンジカ個体数調整の効果を検証するとともに、次年度の捕獲目標頭数を算出する。
1-6 ライトセンサス			○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	4ルート (東大台2ルート、西大台2ルート)	目視(ルートセンサス)	10月	ニホンジカの生息密度を算出する。
1-7 区画法				○					○				6区画 (東大台3区画、西大台3区画)	目視、鳴き声	10月	ニホンジカの生息密度を算出する。
1-8 テレメトリー法(GPS)				○	○	○	○	○	○	○	○	●		行動	年間	ニホンジカの行動圏を、季節による違いを含めて把握し、ニホンジカの生息密度の推定や捕獲手法の参考とする。
1-9 繁殖・栄養状態に関する調査				○	○	○	○	○	○	○	○	●		性、妊娠状況、年齢、食性、栄養状態	ニホンジカ捕獲時に随時	ニホンジカの栄養状態や繁殖率を把握し、個体数調整の効果の検証を行う。また、次年度の捕獲目標頭数の算出の際のパラメータとする。
②緊急対策地区隣接メッシュ(S1～11)																
2-1 植生調査		11									○		20m×20m	種別被度・群度 (新しい剥皮の有無についてメモ)	秋季	階層構造と構成種の変化から、被害状況を把握する。
2-2 糞粒＋ササの稈高調査		11								○	○	●	110コドラート	コドラート内の糞粒数、ササの稈高	秋季	ニホンジカの生息数を推定し、次年度の捕獲目標頭数を算出する。
③ 重点監視地区(N7、N9、N10)																
3-1 毎木調査		3		○		○				○			20m×20m	剥被度(5段階)、枯死状況	秋季	剥被度の上昇率から、被害状況を把握する。
3-2 植生調査		3		○		○				○				種別被度・群度	秋季	階層構造と構成種の変化から、被害状況を把握する。
3-3 下層植生調査		3				○	○	○	○	○	○	▲	2m×2m×5	種別植被率(%)、最大高 (▲は全体の植被率、最大高、優占種)	秋季(詳細調査は落葉前)	稚樹を含む低木層及び草本層に対する被害状況を把握する。
3-4 糞粒調査		3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	110コドラート	コドラート内の糞粒数	秋季	ニホンジカの生息数を推定し、次年度の捕獲目標頭数を算出する。
④ 周辺地区																
4-1 毎木調査		5		○						○			20m×20m	剥被度(5段階)、枯死状況	秋季	剥被度の上昇率から、被害状況を把握する。
4-2 植生調査		5		○						○			20m×20m	種別被度・群度	秋季	植生の変化から、被害状況を把握する。
4-3 下層植生調査		5								○			2m×2m×5	種別植被率(%)、最大高	秋季(落葉前)	稚樹を含む低木層及び草本層に対する被害状況を把握する。
4-4 糞粒調査		5	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	110コドラート	コドラート内の糞粒数	秋季	ニホンジカの生息数を推定し、ニホンジカ保護管理計画の参考とする。

○、△：調査済み ●：調査予定 ■：詳細調査、▲：項目、地点を限定し実施